

2024年3月期 第1四半期 決算概要

2023年8月9日

テルモ株式会社
Chief Accounting and Financial Officer
武藤 直樹



CAFOの武藤でございます。2024年3月期 第1四半期 の決算概要を説明いたします。

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

ハイライト

■ 売上収益

- グローバルで強い需要が継続、四半期として過去最高
- 心臓血管と血液・細胞テクノロジーが二桁伸長して牽引

■ 営業利益

- 為替影響を除いて▲1%減益も、通期業績予想に対して順調な進捗
- 収益改善策の効果発現（価格政策・コストダウン）

■ 株主還元

- 今年度中に200億円の自社株取得

本決算のハイライトです。

Q1の売上収益は四半期として過去最高。グローバルで強い需要が継続し、為替を除いて5%の伸長となりました。

営業利益は為替を除いて▲1%の減益となりましたが、このQ1において四半期単位でインフレによる収益悪化影響を収益改善策のプラス効果が初めて上回り、通期の業績予想に対しても順調な進捗となりました。なお、当期利益は前年を上回り、増収増益となりました。

また、本日の取締役会において、今年度中に上限200億円の自社株を取得することを決議しました。

次のスライドをお願いします。

P&L実績

- 売上収益：グローバルで強い需要が継続し、TIS、血液センター向けビジネス、血管が二桁伸長して牽引
- 営業利益：価格政策の見直しとコストダウンの効果が発現、一方で治療デバイス拡販に向けた投資を強化

金額（億円）	FY22 Q1	FY23 Q1	増減率	為替除く増減率
売上収益	1,973	2,153	9%	5%
売上総利益 (%)	1,016 (51.5%)	1,098 (51.0%)	8%	5%
一般管理費 (%)	566 (28.7%)	651 (30.2%)	15%	10%
研究開発費 (%)	141 (7.1%)	154 (7.2%)	10%	6%
その他収益費用	-6	3	-	-
営業利益 (%)	304 (15.4%)	296 (13.8%)	-3%	-1%
調整後営業利益 (%)	359 (18.2%)	345 (16.0%)	-4%	-4%
税引前利益 (%)	297 (15.0%)	298 (13.8%)	0%	
当期利益 (%)	224 (11.4%)	225 (10.5%)	1%	

期中平均レート(USD/EUR) 130円/138円 137円/150円

©TERUMO CORPORATION

4 / 13



PL実績です。

売上収益は、心臓血管ではTISと血管が、血液・細胞テクノロジーでは血液センター向けビジネスが二けた伸長で牽引しました。

営業利益は、小幅減益となりましたが、価格政策見直しとコストダウン効果は想定通りに出てきています。これら収益改善策の成果は、下期に掛けて更に大きく刈り取って参ります。

一方で、米国を中心とした成長市場での治療デバイス拡販に向けて、販管費の投資を強化しております。

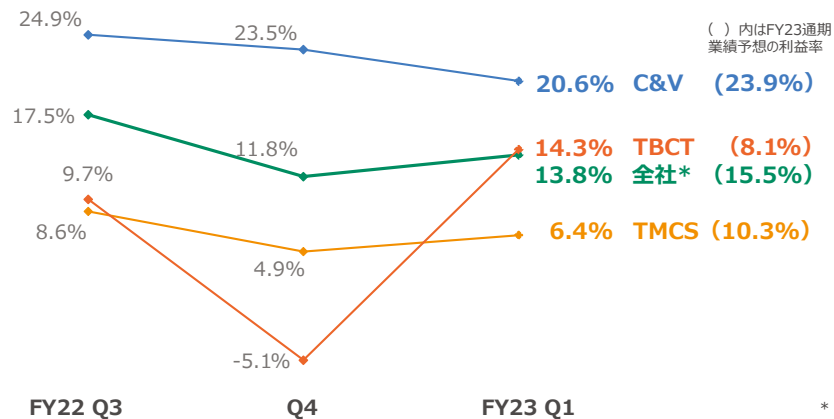
当期利益は、為替差損などの金融費用が減少し、増益を確保しております。

次のスライドをお願いします。

利益率は直近四半期から回復

(C&V: 心臓血管、TMCS: メディカルケアソリューションズ、TBCT: 血液・細胞テクノロジー)

調整後営業利益率の四半期推移



©TERUMO CORPORATION

5 / 13

TERUMO

グラフは、全社営業利益率OPマージンと、カンパニー別の調整後営業利益率の四半期推移です。

前期のQ4は、在庫調整や固定費負担増などの一時費用が高んだことで、メディカルケアソリューションズと血液・細胞テクノロジーのマージンが下がりましたが、

このQ1では、両カンパニーともマージンが回復しています。

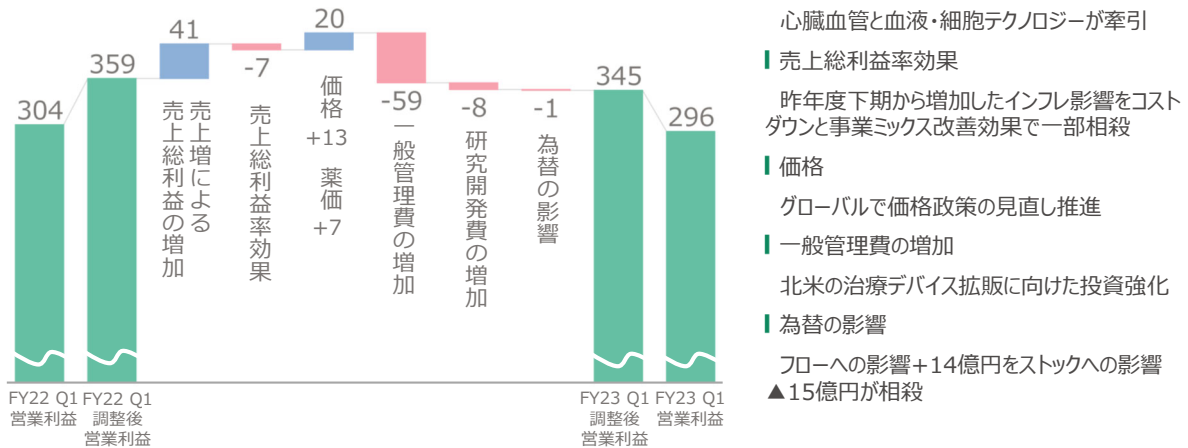
メディカルケアソリューションズのマージンは、Q4よりも高い水準となりましたが、通期予想に対してはまだ低い、これは、QonQで売上が減少したこと、収益改善策の効果はもともと下期に大きく貢献することを見込んでいることが理由です。

血液・細胞テクノロジーは、QonQでも売上が二桁伸長し、利益率が改善しました。

次のスライドをお願いします。

営業利益増減分析（Q1）

（億円）



©TERUMO CORPORATION

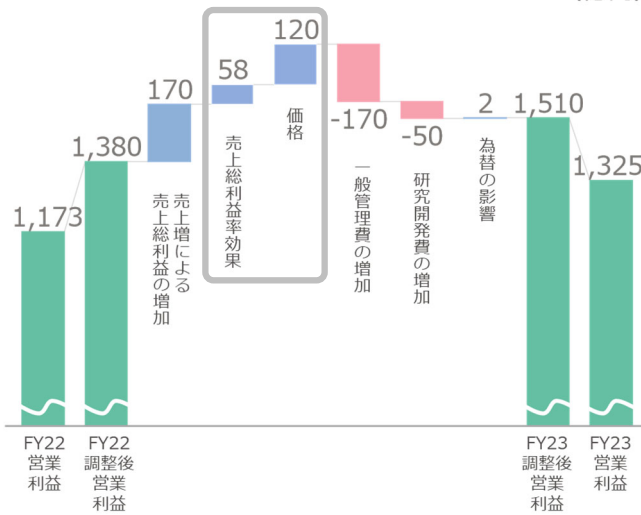
6 / 13

TERUMO

続いて、前年同期比による、利益増減の分析です。
 全ての項目が、通期の予想に対して順調に進捗しています。
 「売上総利益率効果」は、コストダウンと事業ミックスの改善によるプラスの効果を、昨年度下期に悪化したインフレによるマイナス影響が上回り、前同比では依然としてマイナスとなりました。
 「価格」は、日本での薬価改定によるプラス影響に加え、昨年度からグローバルで見直してきた価格政策の成果がありました。
 費用増は、先ほど触れた、C&Vの成長市場への投資を進めている影響です。
 「為替の影響」は、フローとストックへの影響が相殺されました。内訳は、フローに+14億円、ストックに▲15億円の影響でした。
 次のスライドをお願いします。

通期業績予想に織り込む収益改善策

FY23 業績予想 利益増減要因 (億円)



価格 (= 1 価格政策) +120

売上総利益率効果 +58

インフレ ▲25

ミックス改善 +17

一時費用一巡 +30

2 VC2 +36

©TERUMO CORPORATION

7 / 13

TERUMO

通期の予想に関して、先ほど挙げた2つの収益改善策のおさらいです。まず、通期業績予想に織り込んでいる増益効果ですが、「価格」の項目で+120億円、そして「売上総利益率効果」の内訳として全社収益改善プロジェクトVC2が+36億円を見込んでいます。次のスライドをお願いします。

収益改善策の進捗状況

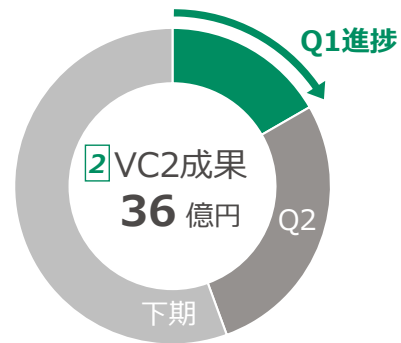


Q1実績

薬価改定のプラス影響に加え、
グローバルで価格政策を見直し

見通し

製品・地域を拡大して
継続的な効果を見込む



コストリカ移管によるコストダウン

国内工場における自動化・効率化や
オペレーション改善による更なる成果刈り取り

©TERUMO CORPORATION

8 / 13

TERUMO

その進捗について説明します。

価格政策とVC2、いずれも下期により大きな増益効果を見込んでいます。

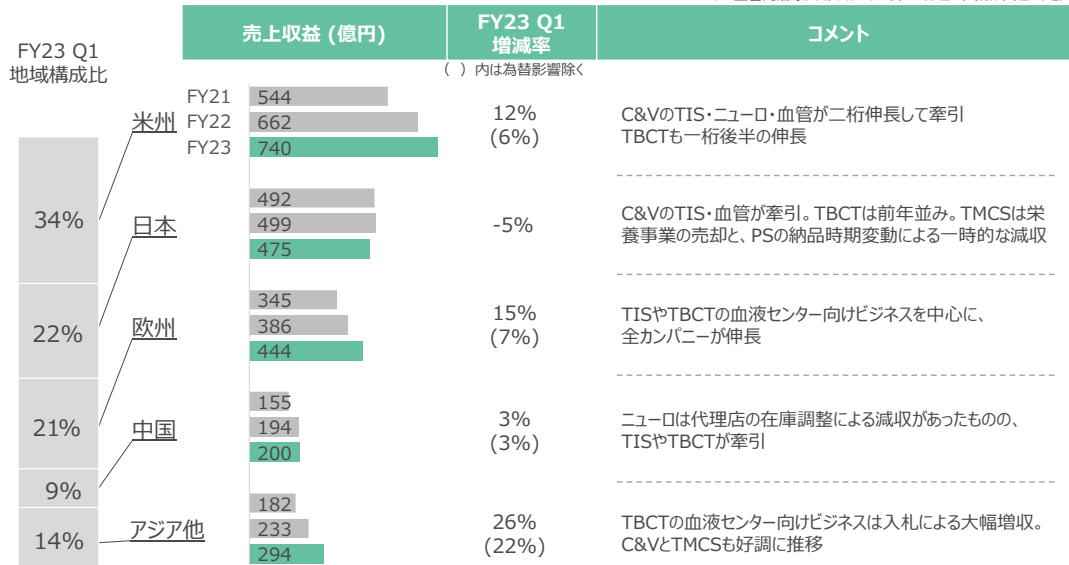
まず価格について、Q1では、日本の薬価改定に加え、昨年度から進めてきたグローバルでの価格政策の見直しの効果がありました。下期には製品と地域を拡大し、より大きな効果を実現します。

続いてVC2について、Q1でグローバル生産最適の目玉であるコストリカへの移管による効果がでてきました。下期にはそれに加え国内工場、特に愛鷹工場を中心とした自動化、効率化のプロジェクト効果を刈り取り始める見込みです。

次のスライドをお願いします。

地域別売上収益

(C&V: 心臓血管、TMCS: メディカルソリューションズ、TBCT: 血液・細胞テクノロジー
TIS: 血管内治療システム、PS: ファーマシューティカルソリューション)



地域別の売上です。最大市場の米州を中心に、海外が成長を牽引しました。

TIS・ニューロ・血管を中心に、心臓血管はグローバルに強い需要が継続しています。

中国のニューロや日本のファーマシューティカルソリューションについては、一時的な減収となりましたが、依然として成長を牽引する事業であり、通期予想への影響はありません。

一方、アジアの血液・細胞テクノロジーは、入札によって大幅に売上が増加しました。

次のスライドをお願いします。

C&V : 欧米が牽引し売上好調。利益も計画通り進捗

(C&V: 心臓血管、TIS: 血管内治療システム、ニューロ: ニューロバスキュラー、CV: カーディオバスキュラー)

(億円)

	Q1			コメント	Q1 売上増減
	()内は為替影響除く				
売上収益	996	1,168	1,306	TIS : 日本の症例数回復は緩やかだったものの、海外は欧米を中心に二桁伸長。中国もコロナ再拡大から順調に回復 ニューロ : 北米は二桁伸長と好調を継続 中国では代理店による在庫調整の影響を受けた CV : グローバルで二桁伸長。日本は装置需要が一巡するも、欧州、アジア向けの装置売上が好調に推移 血管 : 北米で新製品のハイブリッド製品売上が好調に推移 ステントグラフトも販売拡大を継続	+94 +7 +16 +20
セグメント利益	294	280	269	利益 : 増収と収益改善施策の効果でインフレ影響を押し返す 販管費は、北米の治療デバイス拡販に向けた投資を強化	-4% (-3%)
利益率	29%	24%	21%		
	FY21	FY22	FY23		

©TERUMO CORPORATION

10 / 13

TERUMO

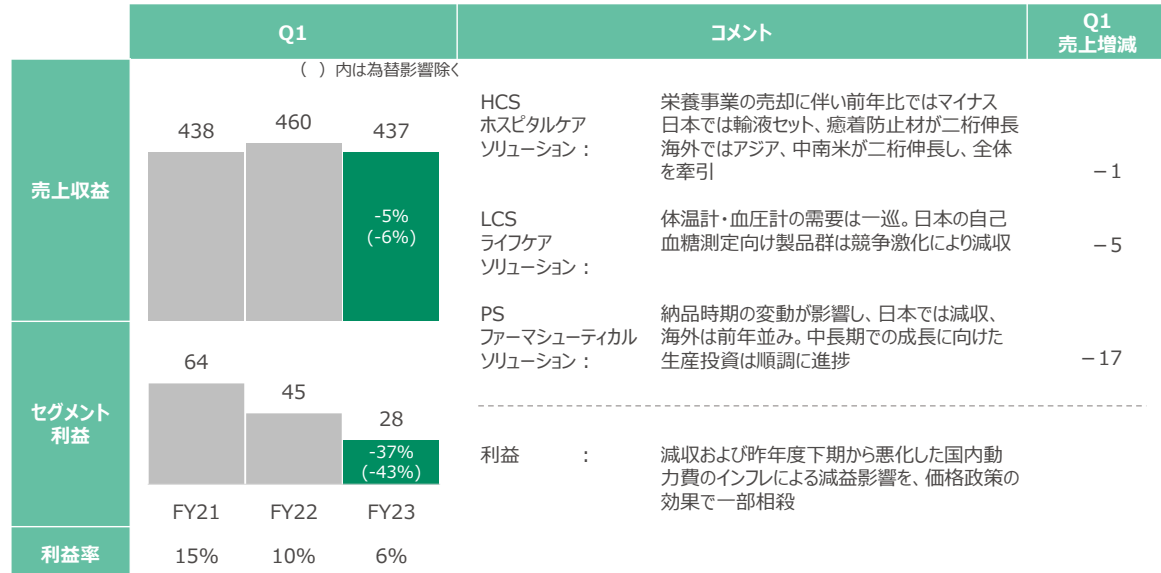
カンパニー別に業績をご説明します。まず、心臓血管です。売上は、為替を除いて+7%伸長と、事業ではTISと血管、地域では欧米を中心に、グローバルで堅調でした。一方、中国では、ニューロ製品が集中購買の対象になるとの見方から、代理店の買い控えがありました。利益は、増収と価格政策、コスタリカ生産移管の効果でインフレ影響を押し返しました。一方で、為替ストック影響によるマージン低下を受けたのがこの心臓血管カンパニーです。また、北米の治療デバイス拡販に向けた販売部隊の拡大など、投資を強化しています。次のスライドをお願いします。

TMCS :

栄養事業の売却やPSにおける納品時期変動が影響
減収・減益となったものの、通期予想に対しては順調な進捗

(TMCS: メディカルケアソリューションズ)

(億円)



©TERUMO CORPORATION

11 / 13



TMCS、メディカルケアソリューションズです。

売上は、ホスピタルケアソリューションの栄養事業を、昨年度売却したことによる減収影響、

ライフケアソリューションにおける機器需要の一巡、

ファーマシューティカルソリューションにおける納品時期の変動が影響し、減収となりました。

利益は、売上の減少に加えて、昨年度の下期から悪化した国内動力費のインフレによるマイナス影響があり、価格政策の効果で一部相殺したものの、減益となりました。

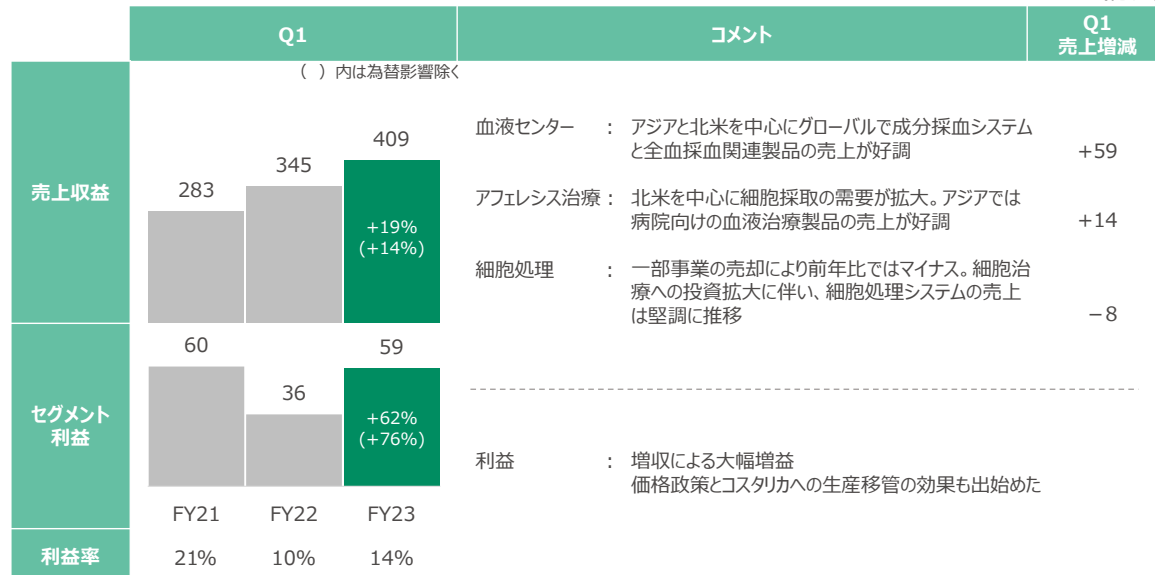
本格的な収益改善は下期からと見込んでおります。

次のスライドをお願いします。

TBCT： 血液センター向けビジネス好調による大幅増益

(TBCT: 血液・細胞テクノロジー)

(億円)



©TERUMO CORPORATION

12 / 13

TERUMO

TBCT、血液・細胞テクノロジーです。

売上収益は、アジアと北米で血液センター向けビジネスを中心に、好調なスタートとなりました。

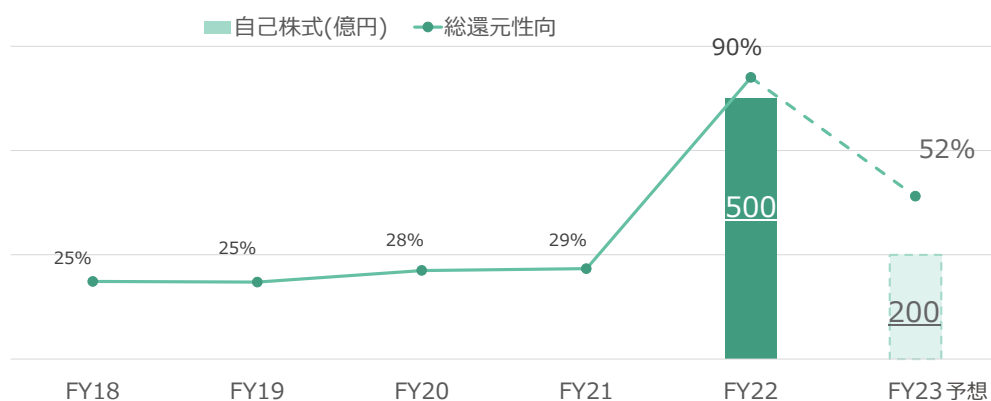
一方で、Q2以降には継続を見込めない、入札による一時的な売上増もありました。

利益も、増収および在庫の期首評価替え等により大幅増益となりました。しかしながら、Q2以降も継続を期待できる価格政策とコスタリカへの生産移管の効果も出始めています。

次のスライドをお願いします。

本日、自社株式取得 200億円を決議

- 還元方針：安定増配を継続、GS26内に総還元性向50%水準を目指す
- 本決議により、FY23の総還元性向は52%を予想
- 自社株式は取得後、消却予定



©TERUMO CORPORATION

13 / 13

TERUMO

最後のスライドです。

昨年度より株主還元の新しい方針として、安定的に増配を継続し、そしてGS26内に総還元性向50%を目指す方針をお伝えしましたが、それに基づき、本年も自社株取得枠200億円を本日取締役会にて決議しています。

以上で、決算概要の説明を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

参考資料

売上明細 (地域別・事業別)

2023年度 第1四半期 セグメント別売上収益

Revenue by Segment for the First Quarter of FY2023

(百万円/ millions of yen)

		Q1 YTD FY2022							Q1 YTD FY2023							増減率 % to 2022							
		日本 JPY	海外 Overseas	欧州 Europe	米州 Americas	中国 China	アジア他 Asia and others	合計 WW	日本 JPY	%20T	海外 Overseas	%20T	欧州 Europe	%20T	米州 Americas		%20T	中国 China	%20T	アジア他 Asia and others	%20T	合計 WW	%20T
心臓血管 カンパニー	TIS	8,064	70,641	17,656	31,551	12,103	8,324	78,705	8,373	8.0%	79,717	12.0%	20,450	15.0%	33,879	13.7%	13,048	7.8%	10,338	10.0%	88,090	11.0%	40.0%
	ニューロバスキュラー	1,342	16,051	4,922	7,120	2,667	1,842	17,987	1,385	3.7%	16,717	4.3%	3,332	8.8%	8,122	14.1%	2,012	-24.4%	1,194	-11.0%	18,103	4.1%	8.4%
	カーディオバスキュラー	2,622	10,150	1,552	6,474	660	1,552	13,710	2,314	-12.7%	12,300	19.2%	2,011	26.7%	7,197	11.7%	673	12.7%	2,225	43.3%	14,424	12.0%	6.7%
	血管	823	7,116	3,833	2,394	340	326	7,940	1,000	21.3%	8,965	26.0%	4,647	20.4%	3,434	32.4%	402	12.7%	483	48.9%	9,966	23.2%	4.6%
Cardiac and Vascular Company		12,853	103,972	27,989	47,740	15,716	12,525	116,825	13,073	1.7%	117,510	13.0%	32,488	16.1%	54,637	14.4%	16,139	2.7%	14,245	13.7%	130,584	11.8%	60.7%
メディカルケア ソリューションズ カンパニー	ホスピタルケアソリューション	23,310	7,868	791	2,806	544	3,816	31,179	22,947	-1.6%	8,122	3.2%	693	-13.2%	2,733	-2.6%	468	-13.9%	4,311	13.0%	31,070	-0.4%	14.4%
	ライフケアソリューション	5,110	815	292	-	397	394	5,925	4,591	-10.2%	853	4.7%	190	-6.0%	11	-	291	-4.1%	317	17.4%	5,444	-5.1%	2.5%
	ファーマシューティカルソリューション	6,091	2,796	1,093	696	80	324	8,587	4,248	-28.0%	2,818	0.0%	1,949	13.1%	216	-68.9%	120	-69.9%	331	63.6%	7,167	-19.4%	3.3%
Medical Care Solutions Company		34,512	11,480	2,598	3,503	921	4,446	45,992	31,887	-7.6%	11,794	2.7%	2,740	3.8%	2,961	-13.7%	882	-3.8%	5,290	17.0%	43,681	-3.0%	20.3%
血液・細胞 テクノロジー カンパニー	血液センター	2,303	22,886	6,074	8,049	2,421	3,320	25,190	2,336	1.4%	28,700	21.4%	7,004	13.3%	10,622	17.4%	2,460	2.0%	8,621	61.1%	31,046	22.2%	14.4%
	アフェレンシス治療機	118	6,572	1,680	3,794	390	796	6,600	84	-28.4%	7,987	21.3%	1,879	11.8%	4,333	15.3%	420	39.8%	1,304	63.6%	8,071	20.8%	3.7%
	細胞処理	20	2,550	280	2,127	7	162	2,679	9	-50.7%	1,795	-29.0%	247	7.3%	1,439	-23.6%	31	-56.0%	36	-63.0%	1,805	-30.0%	0.3%
Blood and Cell Technologies Company		2,441	32,018	7,986	15,001	2,720	6,210	34,459	2,430	-0.4%	38,493	20.2%	9,131	14.3%	16,446	9.6%	2,933	7.8%	9,982	32.2%	40,924	18.8%	19.0%
その他		62	-	-	-	-	-	62	62	2.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62	2.2%	0.0%	
合計		49,860	147,470	38,574	66,244	19,269	32,282	197,340	47,454	-4.8%	167,798	13.8%	44,268	15.0%	74,045	11.8%	19,955	1.0%	19,428	26.4%	215,252	9.1%	100.0%
売上比率 % to Total		25.3%	74.7%	19.5%	33.6%	9.8%	11.8%	100.0%	22.0%	-	78.0%	20.6%	34.4%	9.3%	13.7%	100.0%							

(期中平均為替レート)

(Average Exchange Rates)

(USD)=¥129.73

(EUR)=¥158.26

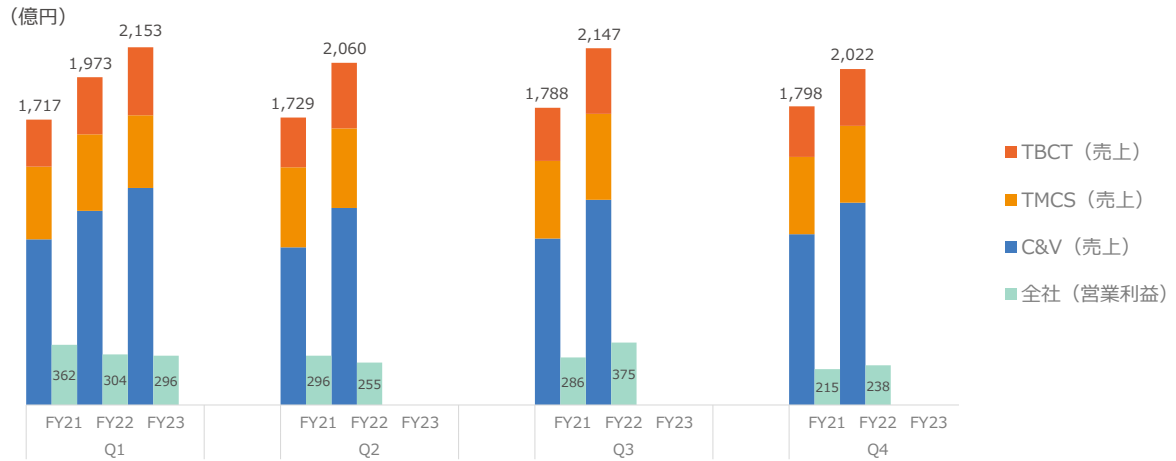
(USD)=¥137.40

(EUR)=¥149.50

売上収益・営業利益の四半期推移

売上収益： FY23 Q1は前同比+9%。QoQでは+6%

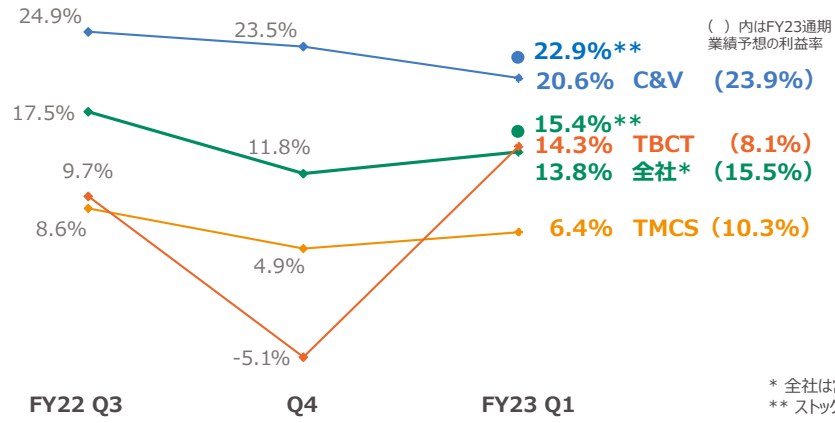
営業利益： FY23 Q1は前同比-3%。QoQでは+24%



利益率は直近四半期から回復

(C&V: 心臓血管、TMCS: メディカルケアソリューションズ、TBCT: 血液・細胞テクノロジー)

調整後営業利益率の四半期推移



P&L（四半期推移）

（億円）

	FY22 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY23 Q1 (4-6月)	
売上収益	1,973	2,060	2,147	2,022	2,153	
売上総利益	1,016 (51.5%)	1,054 (51.1%)	1,114 (51.9%)	990 (49.0%)	1,098 (51.0%)	
一般管理費	566 (28.7%)	605 (29.4%)	615 (28.6%)	597 (29.5%)	651 (30.2%)	
研究開発費	141 (7.1%)	157 (7.6%)	159 (7.4%)	160 (7.9%)	154 (7.2%)	
その他収益費用	-6	-37	35	5	3	
営業利益	304 (15.4%)	255 (12.4%)	375 (17.5%)	238 (11.8%)	296 (13.8%)	
調整後営業利益	359 (18.2%)	345 (16.8%)	392 (18.2%)	284 (14.1%)	345 (16.0%)	
四半期 平均レート	USD EUR	130円 138円	138円 139円	142円 144円	132円 142円	137円 150円

販管費（四半期推移）

(億円)

		FY22 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY23 Q1 (4-6月)
人件費		298	312	316	307	336
販促費		46	44	52	45	49
物流費		44	47	49	44	47
償却費		56	59	60	58	58
その他		123	142	138	143	161
一般管理費計 (%)		566 (28.7%)	605 (29.4%)	615 (28.6%)	597 (29.5%)	651 (30.2%)
研究開発費 (%)		141 (7.1%)	157 (7.6%)	159 (7.4%)	160 (7.9%)	154 (7.2%)
販管費合計 (%)		706 (35.8%)	761 (37.0%)	774 (36.0%)	757 (37.4%)	805 (37.4%)
四半期 平均レート	USD	130円	138円	142円	132円	137円
	EUR	138円	139円	144円	142円	150円

©TERUMO CORPORATION

19 / 13

 TERUMO

販管費（前年同期比）

（億円）

	FY22 Q1	FY23 Q1	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	298	336	38	13%	8%
販促費	46	49	3	6%	2%
物流費	44	47	4	8%	4%
償却費	56	58	2	3%	0%
その他	123	161	39	31%	27%
一般管理費計 (%)	566 (28.7%)	651 (30.2%)	85	15%	10%
研究開発費 (%)	141 (7.1%)	154 (7.2%)	14	10%	6%
販管費合計 (%)	706 (35.8%)	805 (37.4%)	99	14%	9%

調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY22 Q1	FY23 Q1
営業利益	304	296
調整① 買収無形資産の償却費	46	46
調整② 一時的な損益	9	2
調整後営業利益	359	345

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整②「一時的な損益」の主な項目	FY23 Q1
事業再編費用	2
その他	-

設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

	FY20	FY21	FY22	FY23 Q1	FY23予想
設備投資	772	692	758	135	800
償却費	484	532	635	163	675
買収無形償却費	146	161	188	46	175
それ以外	338	371	447	117	500

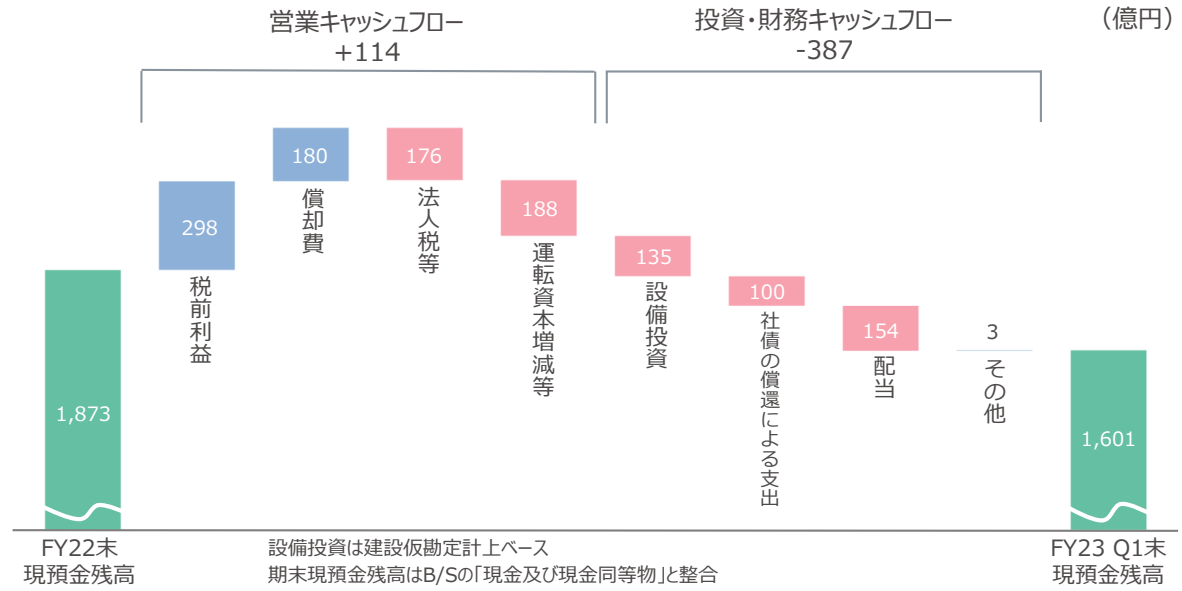
設備投資は、建設仮勘定計上ベース・リース含まず、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

■ FY23 Q1実績（135億円）：主にTIS、ニューロ、PS、血液・細胞テクノロジーの増産設備、原料血漿採取関連、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続、CDMO等生産体制強化のため甲府工場内の新棟建設に向けた投資

■ FY23の資本効率はROE 8.5%、ROIC 7.0%を見通す

	FY20	FY21	FY22	FY23 Q1	FY23予想
研究開発費	491	518	616	154	650

キャッシュフロー（Q1）



©TERUMO CORPORATION

23 / 13

TERUMO

FY23 Q1 為替影響の内訳（フロー・ストック）

■ 対FY22 Q1 為替影響 -1億円

■ フロー +14億円：ユーロ高・中国元高によるプラス効果

レート（円）	FY22 Q1 期中平均	FY23 Q1 期中平均	差異
EUR	138	150	11
中国元	19.6	19.6	-0

■ ストック -15億円：棚卸資産未実現利益消去への為替影響

・6月に急激な円安が進行、期中平均と期末日レートの差が拡大 → マイナス影響

レート（円）	FY22 3月末	FY23 6月末	差異
USD	134	145	11
EUR	146	158	12

為替感応度

1円の円安に対する年間影響額（フロー） （億円）

	USD	EUR	中国元
売上収益	22	11	39
調整後営業利益	0	5	23

1円の円安に対する影響額（ストック）

	USD	EUR	中国元
調整後営業利益	-2.5	-0.6	-2.0

製品パイプライン

主要製品の発売・適応取得状況

領域（事業）	一般名	製品名	～FY22	FY23目標
治療（TIS）	薬剤溶出型冠動脈ステント	Ultimaster Nagomi	日本発売	欧州発売
治療（TIS）	末梢血管塞栓用コイルシステム	AZUR ファミリー	Hydro Coil, Framing Coil, CX, Soft3D（日） Vascular Plug（米） 発売*	Hydro Coil, CX 中国発売
ステントグラフト（血管）	胸部大動脈ステントグラフト	Relay シリーズ	RelayPro 米国発売 日本適応拡大	米国適応拡大による 売上拡大
輸液アクセス（HCS）	静脈留置針	サーフロー-ZERO	日本発売	売上拡大
糖尿病（LCS）	連続血糖測定システム	G6	日本 保険適用追加	売上拡大
細胞処理	細胞増殖システム	Quantum Flex	グローバル発売	売上拡大

TIS: 血管内治療システム、HCS: ホスピタルアクセスソリューション、LCS: ライフケアソリューション
*Hydro Coil, Framing Coil, CXは中国除くグローバル発売



